



## プラス思考で！

師走に入り、今年も残すところ残りわずかとなってしまいました。気持ちの上でも何となく忙しさを感じる毎日となってきました。今年も「あと 日しかない」とするか「まだ日もある」と考えるかによって、取り組みにも差が出てきます。プラス思考の方が、自然に能力が発揮できると言われています。心にとどめてこの年末を送りたいものです。

学校では2学期のまとめの時期を迎えるとともに、3年生にとっては、本格的に受験に向けての準備として、面接練習や願書作成が始まりました。「やってやれないことはない」「やらずして成果は残らない」といったプラス思考でやる気を起こし、進路実現に真正面から取り組んでほしいと願っています。

### 【豆知識】 師走(12月)の語源・由来

師走は当て字で語源は諸説あり、正確な語源は未祥である。師走の主な語源説として、師匠の僧がお経をあげるために、東西を馳せる月と解釈する「師馳す(しはす)」がある。現代の「師走」と漢字の意味も近い。

次の月は何月を表すのでしょうか。(国語の授業で習ったかも知れません)

長月 睦月 卯月 神無月 葉月 弥生  
霜月 如月 文月 水無月 皷月

### 授業参観・懇談会お世話になりました！

4日(金)の午後に、第3回の授業参観・学年懇談会を行いました。多数の保護者の皆様にご出席いただき、心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。



生では進路についての話もあったものと思います。保護者の皆様に対して、学校側からたくさんのお願いをしましたが、ご協力の程お願いいたします。

冬休みは、12月23日(水)から1月7日(木)までの16日間となります。健康で事故のない生活や、自分自身を律した有意義な毎日を送ることが大切です。そして家族とのふれ合いを大切にする時間をもってほしいと思います。

何か気になることや相談等がありましたら、学校に連絡ください。

### 《二中学生の活躍》

#### 青少年赤十字「詩・100文字提案作品募集」

- ・「福島・日本・世界のためにわたしがしたいことができること」  
最優秀賞 善方 詩乃(3年)  
佳作 金澤 佳奈(3年)  
入選 大木 翔太(3年)
- ・「いのちの詩・愛の詩」  
入選 鈴木侑季乃(3年)  
佳作 関根妃奈乃(3年)
- ・「わたしが感動したことはやでこと」  
佳作 長沼 莉子(3年)  
入選 小林 萌花(3年)  
矢吹 なゆ(3年)

#### 全国中学生人権作文コンテスト福島県大会郡山地区審査結果

- ・郡山人権擁護委員協議会奨励賞  
鈴木 陽(1年) 石井 香澄(2年)  
本内悠太郎(3年)
- 明るい社会づくり作文コンクール  
市長賞 荒川 大(1年)  
教育長賞 五十嵐あゆ菜(2年)  
入賞

- 1年 佐藤優花・切石愛結・佐藤璃音  
安藤歩幸
- 2年 坂本 萌・松川未悠・佐藤未羽  
馬飼野若菜・古田充輝  
渡邊夏音・柳沼麻綾・桑名萌実  
本多ひなた・有我希彩  
大森藍莉・菅原絵菜
- 3年 関 陽・佐藤綾夏

1学期に比べお子さんの成長した様子を、授業を通してご覧いただけましたものと思います。特に1年生は、心も体も大きく成長し、中学生らしさやたくましさを感じられるようになりました。学年懇談会では、2学期の学習や生活の様子、冬休みの過ごし方、3年



「明るい社会づくり作文コンクール」で最高賞受賞！

2日（水）の午後3時から、須賀川市役所において、「第28回明るい社会づくり作文コンクール」表彰式が行われました。

本校の荒川大くん（1年）が中学の部で市長賞を、五十嵐あゆ菜さん（2年）が中学の部で教育長賞を受賞しました。最高賞の受賞となるすばらしい活躍に、心より拍手を送りたいと思います。

式の中では、市長さんから直接表彰があり、緊張しながら受け取ってきたようです。受賞おめでとうございます。



先手必勝 勉強ができる

勉強ができるようになるためには、物事を後回しにせず、やらなければならないことは、てきぱきこなすことです。例えばテストをやった後、その日のうちに答え合わせをして、間違いを確認しておくことは大切です。間違いが早く解決できるので、次のステップにどんどん進んでいけます。宿題もそうです。出されたその日にやってしまう。早い生徒は休み時間のうちにやってしまいます。

逆に、いつもだらだらと宿題はもちろん、顔を洗うことや寝る時間さえもぐずぐずして、何でも後回しにしているとどうでしょうか。やるべきことがどんどんたまっていくので、ますますやるのが嫌になってきます。やらないので、できなくなる。ますます嫌になるという悪循環にはまってしまう。

このことは、仕事にもあてはまります。やるべきことは早く片付けることが効率を高めることになります。

これは、生活習慣によるものですから、やるべきことは後回しにせず、てきぱきとやるような、先手必勝の心がけが大切です。

こころの窓

「工夫」ということばを辞書で引くと、「よい方法をいろいろ考えること。また、考えたついたよい方法」と記載されています。普段はあまり気にせず生活していますが、身の回りにあるものすべてが工夫されています。今日の自分より明日の自分が少しでも成長するように、毎日の生活にちょっとの工夫をしてみるのも大切なことです。

機関誌「PHP」から的一篇を紹介いたします。

工夫する生活

とにかく考えてみることに、工夫してみることに、そしてやってみることに。失敗すればやり直せばいい。やり直してダメなら、もう一度工夫し、もう一度やり直せばいい。

同じことを同じままにいくら繰り返しても、そこには何の進歩もない。先例におとなしく従うのもいいが、先例を破る新しい方法を工夫することの方が大切である。やってみれば、そこに新しい工夫の道もつく。失敗を恐れるよりも、生活に工夫のないことを恐れた方がいい。

われわれの祖先が、一つ一つ工夫を重ねてくれたおかげで、われわれの今日の生活が生まれた。何気なしに見逃している暮らしの断片にも、尊い工夫の跡がある。茶碗一つ、ペン1本も、これをつくづく眺めてみれば、何というすばらしい工夫であろう。まさに無から有を生み出すほどの創造である。

お互いにもう一度考え直そう。昨日と同じことを今日は繰り返すまい。どんな小さなことでもいい。どんなわずかなことでもいい。昨日と同じことを今日は繰り返すまい。多くの人々のわずかな工夫の累積が、大きな繁栄を生み出すのである。